




令和4年度 学力向上に係る効果的な取組事例

「教科等の目標を達成するための一人一台端末の効果的な活用について」

越谷市教育委員会




実践1

個別学習（表現・制作）

学 年	小学校 第2学年	教科等	生活科
小単元名	2年生でがんばったことをふりかえろう		
本時の目標	これまでの学習を振り返って、自分ができるようになったことや友達のよいところに気付くことができる。【知識及び技能】		
ICT端末の効果的な活用			
【方法】	2年生になって、できるようになったことや頑張ったことを色画用紙にまとめた「自分アルバム」の中から、友達に一番伝えたいことを選び、ロイロノート・スクールを使って、カードにまとめる。一年間、様々な学習の中で撮りためた写真と文章を組み合わせて、まとめる。		
【ポイント】	「自分アルバム」は全てロイロノート・スクールで作成するが、友達へのコメントはロイロノート・スクールで送信しない等、ロイロノート・スクール（デジタル）のよさと手書き（アナログ）のよさとが生きるよう、使い分ける。		
【効果】	作成したカードを瞬時に全員と共有することができるため、より多くの友達の頑張りに気付くことができた。手元にある友達のカードを確認しながらコメントカードを書くことができ、友達のよいところにしっかりと気付くことができた。		
  			


実践2

個別学習（表現・制作）

学 年	小学校 第4学年	教科等	理科
単元名	ものの体積と温度		
本時の目標	空気を温めたり冷やしたりしたときの体積の変化を、石けんの膜を用いて調べ、見出したことを文章や図を用いて表現することができる。【思考力、判断力、表現力等】		
ICT端末の効果的な活用			
【方法】	①班で1名、実験の動画を撮影し、班員にデータを送る。個人で実験の様子を再生しながら結果をまとめたり、考察に生かしたりして思考力を高める。 ②ロイロノート・スクールの思考ツール「Yチャート」を活用して、動画や写真、書き込んだテキストを「空気」「水」「金属」の3つに分類させる。それぞれの体積と温度を関係付けて捉える見方や考え方を育てる。また、「金属」「水」「空気」の順に変化が大きくなるという相対的な関係も捉えさせる。		
【ポイント】	動画を再生しながら結果を確かめ、根拠をもってじっくり考察し、ノートにまとめることができる。		
【効果】	実験結果を繰り返し再生できるため、事実を基にした考察を容易に行うことができ、考察を書くことが苦手な児童も意欲的に取り組み、思考力、判断力、表現力の育成につながった。まとめでは、「空気」「水」「金属」の3つに分類して整理することで、相違点が見つけやすかった。		
  			


実践3

協働学習（学校の壁を越えた学習）

学 年	小学校 第6学年	教科等	外国語
単元名	わたしたちの学校・JUMP Presentation1 This is our school.		
本時の目標	ポスターを見せながら発表することができる。【思考力、判断力、表現力等】		
ICT端末の効果的な活用			
【方法】	オンラインでつながっている画面を大画面テレビに映し、オーストラリアの小学生と実際に話し、交流する。自分で作成したポスターを見せながら、発表したり質問をし合ったりする。		
【ポイント】	オンラインでオーストラリアの学校とつながることで、オーストラリアの児童と同じ場所にいるかのように、相手の顔を見ながら実際に話すことができる。		
【効果】	オーストラリアの児童と実際に話すことで、児童の「英語が話せる」という感覚が高まった。また、「相手に理解してもらえた」「相手の言っていることが分かった」「コミュニケーションが取れた」という成功体験と感動を味わい、「発音を良くしたい」「相手に伝わるように話したい」というさらに高い目標をもてた。		
			

実践4

協働学習（発表や話し合い）

学 年	中学校 第1学年	教科等	保健体育
単元名	器械運動 マット運動		
本時の目標	自己の課題を発見し、改善策を考え、自己や仲間の考えたことを書き出したり、他者に伝えたりすることができる。【思考力、判断力、表現力等】		
ICT端末の効果的な活用			
【方法】	展開時、倒立前転、後転系選択技を行う際の動画撮影、再生時のアプリ（ウゴトル）の活用。		
【ポイント】	自身の技を行っている様子を撮影し、模範動画と比較することで改善点が明確になる。		
【効果】	撮影した動画と模範動画を比較することで、課題が見つけやすく、グループ学習が深まった。ICTを活用することで技の完成度が高くなり、生徒の達成感の向上にもつながった。		
			

実践5

協働学習（発表や話し合い）

学 年	中学校 第2学年	教科等	数学
単元名	平行と合同		
本時の目標	多角形の内角の和の求め方を説明しよう。【思考力、判断力、表現力等】		
ICT端末の効果的な活用			
【方法】	ロイロノート・スクールを使って ① 図形の入ったテキストを送る。 ② テキストに説明を加えて提出する。 ③ 提出箱内の回答を共有する。 ④ 「生徒発表」機能を使って生徒に発表させる。		
【ポイント】	説明を全員が手元で確認でき、前に出てこなくても自席で全体に説明ができる。		
【効果】	習熟度に合わせて知りたいことを自ら見つけることができた。また、自分と異なる説明を知る時間が短縮された。		
